学校番号	1008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習基礎	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・A（受験編）　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演習科目であるため，授業では説明を聞くことに留まらず，自分で考えて解くことに重点が置かれます。数学ⅠA の既習事項を振り返り，問題を解き，解説を読んだり他の受講生の発表等を聞いたりすることで，その問題の要点の理解を深めてください。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いた内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・日々の家庭学習も大切です。そのための提出課題を出すことがあります。
・授業用とは別に問題集ノートを用意してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数と式，図形と計量，２次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに， 数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に 表現・処理したりする技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】
命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ Aの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。図形の構成要素間の関係に着目し，論理的に考察し表現する力を身に付けている。事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。データの散らばりや変量間の関係などに着目し，分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数と式	式の値 絶対値を含む方程式･不等式	a: 根号を含む式の計算ができる。絶対値記号を含む基本的な方程式・不等式を解くことができる。 b:根号を含む式の値について大きさを考察したり，整数部分と小数部分を求めたりすることができる。不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 c:分母の有理化についての学習を振り返り，考察を深めようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

	集合と命題	集合 必要条件･十分条件	a：集合と命題や条件に関する基本的な概念，命題の逆･裏･対偶，命題の真偽を理解している。集合と要素の関係や集合同士の関係を記号や図を用いて表現することができる。 b:ド・モルガンの法則を理解し，利用することができる。 C：命題の真偽や条件同士の包含関係を，条件が満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察
	2次関数	放物線の平行移動 2次関数の最大･最小 2次不等式 放物線とx軸の共有点	a:二次関数の最大値や最小値を求めることができる。二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係，二次不等式と二次関数のグラフとの関係について理解している。 b:定義域や式に文字を含む場合に，二次関数の最大値と最小値がどのように変化するかを判断することができる。 c:一次不等式の性質を基に，関数のグラフを利用して二次不等式を解くことを考えようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察
二学期	図形と計量	正弦定理･余弦定理･面積 円に内接する四角形 空間図形と三角比	a:正弦定理や余弦定理を理解し，三角形の辺の長さや角の大きさをもとめることができる。 b：図形の構成要素間の関係に着目して，問題を解決したり，事象の数学的な特徴を考察したりすることができる。 c：図形と計量について学んだことを，事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

	データの分析、	平均値、分散と散らばり データの相関 仮説検定の考え方	a:分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 b:データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 c:統計量の性質について学んだことを，事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 態度の観察
	場合の数と確率	場合の数･順列･組合せ 確率の基本 反復試行の基本 条件付き確率、期待値	a:確率の意味や基本的な法則を用いて，事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の確率，条件つき確率を求めることができる。 b:確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 c:場合の数や確率を求める方法を多面的に考察しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 態度の観察
	図形の性質	平面図形 空間図形	a:三角形、円、空間図形に関する基本的な性質を理解している。 b:図形の構成要素間の関係やすでに学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見出し，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 C：図形の性質について学んだことを，事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 態度の観察
三学期	問題演習	数学Ⅰ･A 実践問題	a: 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 b: 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 c: 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	確認テスト 単元テスト	確認テスト 単元テスト ワークシート	ワークシート 態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度